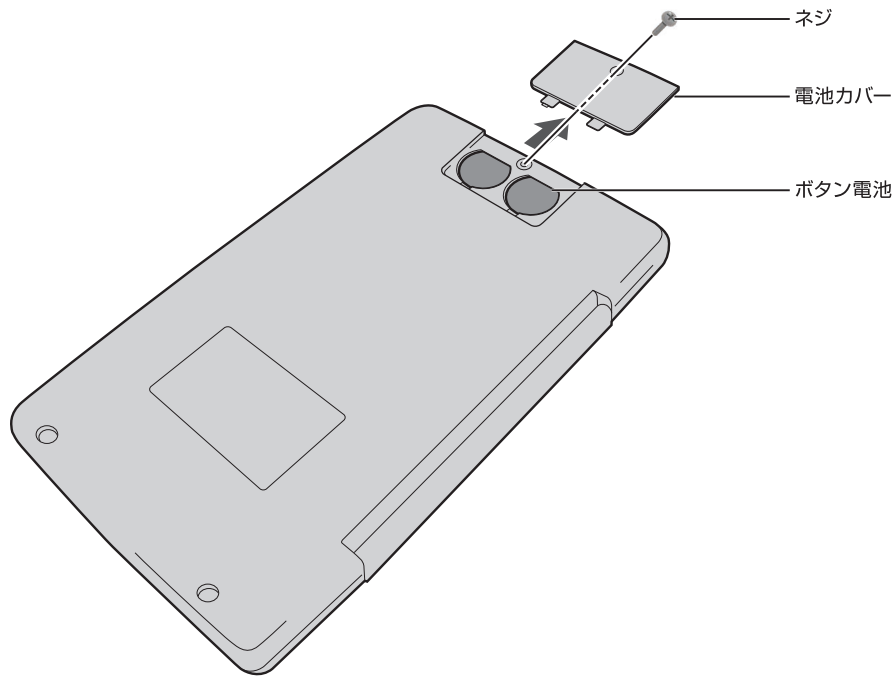


## 4 電池の交換



1. 電源オフキーを押して、本機の電源をオフにする。
2. プラスドライバーを使って、電池カバーのネジ(1個)を緩め、取り外す。
3. ボタン電池2個を取り出し、新しいボタン電池(LR1130)と交換する。
4. 電池カバーをプラスドライバーでネジを締めて取り付け。
5. 電源オフキーを押してから、電源オンキーを押す。  
ディスプレイに「DEG」が点灯されていれば正常に使用できます。

## ⚠ 注意

- 電池交換後にディスプレイが表示されない場合やキー操作ができない場合は、電池が正しく装着されていない可能性があります。乾燥したきれいな布などで電池の表面を拭いてから、再度装着してください。また、必ず2個とも新しい電池に交換してください。

## モノタロウ 関数 電卓 簡易タイプ

注文コード：62865417

このたびは、関数 電卓 簡易タイプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

## 1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。  
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

## ⚠ 警告

この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

## ⚠ 注意

この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや損害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

## ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。  
また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。

## ⚠ 警告

- 小さなお子様の手が届かない場所に収納し、必ず大人の方が常に管理できる状況でご使用ください。
- 燃えやすい物や引火しやすい物、可燃性ガスなどがある場所には絶対に設置、および付近で使用しないでください。  
思わぬ事故の原因になります。

## ⚠ 注意

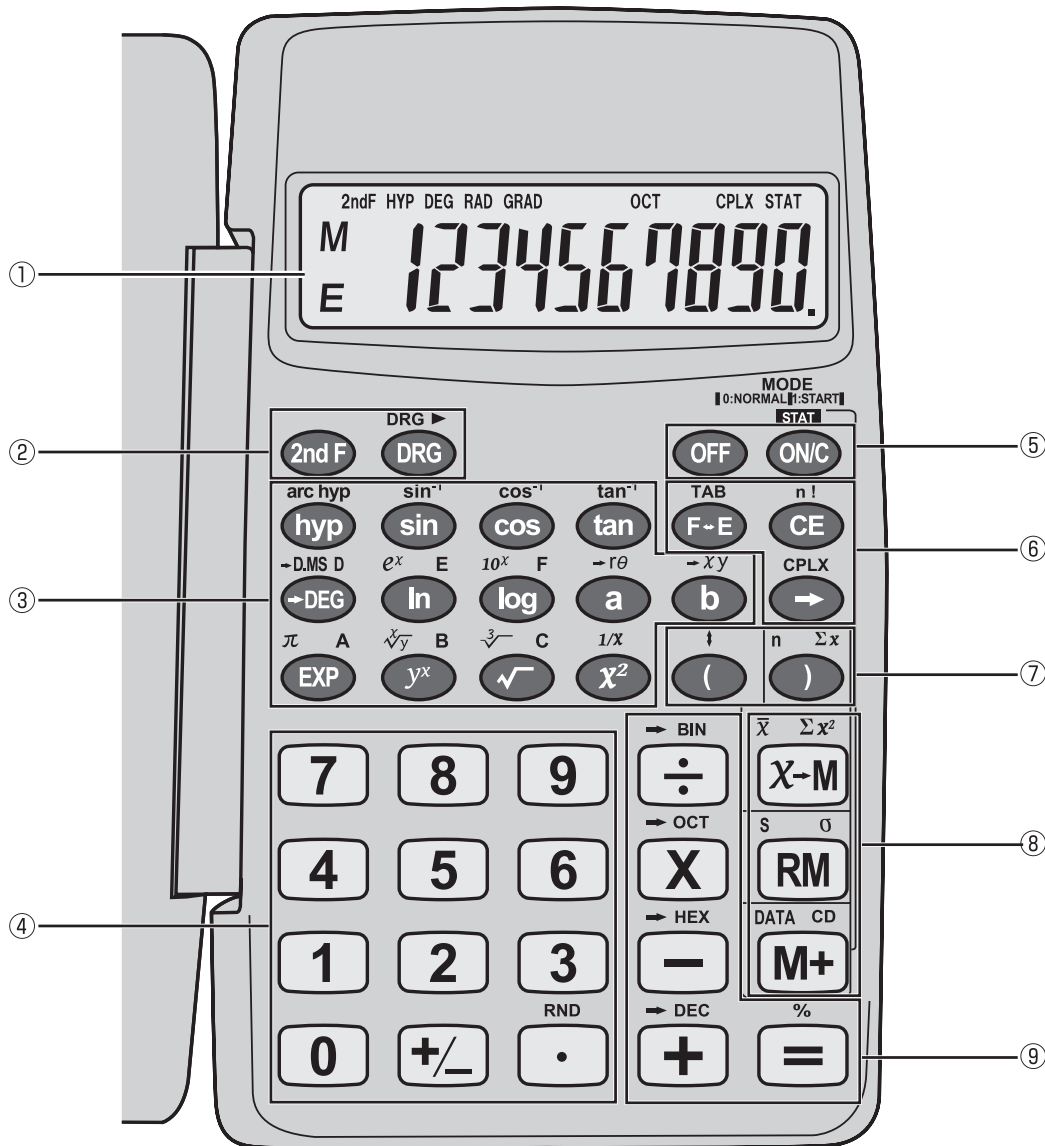
- 本製品は防水仕様ではありません。雨がかかる場所や結露しやすい場所に放置しないでください。  
また濡れた手で本機を触らないでください。故障の原因になります。
- 温度、湿度の変化が大きい場所、ほこりの多い場所、車内など直射日光の当たる場所に放置しないでください。  
故障の原因になります。
- 過度な衝撃や振動をあたえないでください。故障の原因になります。
- 指定された種類の電池以外は使用しないでください。また、極性(+)、(-)を間違えないでください。  
故障の原因になります。
- 新旧、および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。故障の原因になります。
- 長期間使用しないときは本体から電池を取り外し、保管してください。液漏れによる故障の原因になります。
- 本体をシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。変形や変色につながるおそれがあります。

## 仕様

使用電池	ボタン電池(LR1130)×2個
桁数	10桁
外形寸法	120×72×12mm

※上記の仕様は予告なしに変更することがあります。

## 2 各部の名称と機能



## 名称一覧

### ① ディスプレイ

数値やモードアイコンなどを表示します。詳しくは「ディスプレイの表示」をご覧ください。

### ② モード切替キー

**2nd F** (第2機能選択キー):

キーの上部に表示された関数を実行します。

DRG ▶

**DRG** (ディグリー切替キー):

角度の単位(ディグリー、ラジアン、グラジアン)を切り替えます。

**2nd F** → **DRG**

表示されている角度値を別の単位に変換します。

### ③ 関数計算キー

arc hyp

**hyp** (双曲線関数キー):

双曲線関数を実行します。

**2nd F** → **hyp**

逆双曲線関数を実行します。

sin<sup>-1</sup>

**sin**

cos<sup>-1</sup>

**cos**

tan<sup>-1</sup>

**tan** (三角関数キー):

三角関数を実行します。

**2nd F** → **sin-1**、**cos-1**、**tan-1**

逆三角関数を実行します。

-D.MS D

**DEG** (進数変換キー):

表示されている数値を10進数に変換します。

**2nd F** → **→ D.MS**

表示されている数値を60進数(度、分、秒)に変換します。

**D** (16進数モードの場合)

「D」(13)を入力します。

e<sup>x</sup> E

**ln** (自然対数キー):

自然対数関数を実行します。

**2nd F** → **e<sup>x</sup>**

表示されている数値を真数に変換します(logベースe)。

**E** (16進数モードの場合)

「E」(14)を入力します。

10<sup>x</sup> F

**log** (常用対数キー):

常用対数関数を実行します。

**2nd F** → **10x**

表示されている数値を真数に変換します(logベース10)。

**F** (16進数モードの場合)

「F」(15)を入力します。

$\sim r\theta$   
**a** (実数部選択キー) :

複素数計算において、実数部を記憶します。

$2\text{ndF}$  →  $\rightarrow r\theta$

直交座標(x,y)を極座標(r,θ)に変換します。

$\sim xy$   
**b** (虚数部選択キー) :

複素数計算において、虚数部を記憶します。

$2\text{ndF}$  →  $\rightarrow xy$

極座標(r,θ)を直交座標(x,y)に変換します。

$\pi$  **A**  
**EXP** (指数入力キー) :

指数を入力するときを使用します。

$2\text{ndF}$  →  $\pi$

円周率(3.141592654)を入力します。

**A** (16進数モードの場合)

「A」(10)を入力します。

$\sqrt[y]{x}$  **B**  
**y<sup>x</sup>** (累乗入力キー) :

累乗計算を実行します。

$2\text{ndF}$  →  $x\sqrt{y}$

累乗根計算を実行します。

**B** (16進数モードの場合)

「B」(11)を入力します。

$\sqrt{x}$  **C**  
 **$\sqrt{\phantom{x}}$**  (平方根キー) :

入力されている数値の平方根を計算します。

$2\text{ndF}$  →  $\sqrt[3]{\phantom{x}}$

入力されている数値の立方根を計算します。

**C** (16進数モードの場合)

「C」(12)を入力します。

$1/x$   
 **$x^2$**  (平方数キー) :

入力されている数値の平方数を計算します。

$2\text{ndF}$  →  $1/x$

入力されている数値の逆数を計算します。

#### ④ 数値入力キー

**0** ~ **9** (数値キー) :

数値を入力します。

**+/-** (正負変換キー) :

入力されている数値のプラス/マイナスを切り替えます。

**RND**  
**.** (小数点キー) :

小数点を入力します。

$2\text{ndF}$  → **RND**

0.000~0.999の範囲で乱数を発生させます。(10進数しか適用されません。)

#### ⑤ 電源キー

**OFF** (電源オフキー) :

本機の電源をオフにします。

約8分間操作しない場合も、電源が自動的にオフになります(自動電源オフ機能)。

**STAT**  
**ON/C** (電源オン/クリアキー) :

本機の電源をオンにします。

操作中に押すと、入力中の計算をクリアします(メモリー機能で記憶した数値はクリアされません)。

$2\text{ndF}$  → **STAT**

統計モードに切り替えます。

#### ⑥ 表示キー

**TAB**  
**F↔E** (表示モードキー) :

浮動小数点表示と指数表示を切り替えます。

$2\text{ndF}$  → **TAB**

小数位を設定するときを使用します。小数位は数値キー(0~9)を使って桁数を変更できます。

(右端の桁は四捨五入されて表示されます。)

**n!**  
**CE** (入力訂正キー) :

直前に入力した内容をクリアします。

$2\text{ndF}$  → **n!**

階乗計算を実行します。

**CPLX**  
**→** (バックスペースキー) :

最後に入力した数字を消去します。

$2\text{ndF}$  → **CPLX**

複素数計算モードに切り替えます。

#### ⑦ 括弧入力キー

**(** (括弧開きキー) :

括弧開きを入力します。

$2\text{ndF}$  →  $\updownarrow$

表示されている数値をメモリーに記憶されている数値と入れ替えます。

**)** (括弧閉じキー) :

括弧閉じを入力します。

**n** (統計モードの場合)

入力したデータの標本総数を表示します。

$2\text{ndF}$  →  $\Sigma x$  (統計モードの場合)

入力したデータの総和を計算します。

#### ⑧ メモリーキー

**$\bar{x}$   $\Sigma x^2$**   
**X-M** (メモリー登録キー) :

表示されている数値をメモリーに記憶します。(現在のメモリー内容はクリアされます。)

$\bar{x}$  (統計モードの場合)

入力したデータの平均値を計算します。

$\boxed{2ndF}$  →  $\boxed{\Sigma x^2}$  (統計モードの場合)

入力したデータの平方和を計算します。

$\overset{s}{\text{RM}}$  (メモリー呼出キー) :

メモリーに記憶されている数値を表示します。

$\boxed{S}$  (統計モードの場合)

入力したデータの標本標準偏差を計算します。

$\boxed{2ndF}$  →  $\boxed{\delta}$  (統計モードの場合)

入力したデータの母標準偏差を計算します。

$\overset{\text{DATA CD}}{\text{M+}}$  (メモリー追加キー) :

表示されている数値をメモリーに記憶されている数値に足します。

$\boxed{+}$  →  $\boxed{\text{M+}}$

表示されている数値をメモリーに記憶されている数値から引きます。

$\boxed{\text{DATA}}$  (統計モードの場合)

各データを入力するときに使用します。

$\boxed{2ndF}$  →  $\boxed{\text{CD}}$  (統計モードの場合)

入力したデータをクリアします。

### ⑨ 四則演算キー

$\overset{\text{BIN}}{\div}$  (割り算キー) :

割り算を実行します。

$\boxed{2ndF}$  →  $\boxed{\rightarrow \text{BIN}}$

2進数モードに切り替えます。

$\overset{\text{OCT}}{\times}$  (掛け算キー) :

掛け算を実行します。

$\boxed{2ndF}$  →  $\boxed{\rightarrow \text{OCT}}$

8進数モードに切り替えます。

$\overset{\text{HEX}}{-}$  (引き算キー) :

引き算を実行します。

$\boxed{2ndF}$  →  $\boxed{\rightarrow \text{HEX}}$

16進数モードに切り替えます。

$\overset{\text{DEC}}{+}$  (足し算キー) :

足し算を実行します。

$\boxed{2ndF}$  →  $\boxed{\rightarrow \text{DEC}}$

10進数モードに切り替えます。

$\overset{\%}{=}$  (イコールキー) :

入力した計算式の結果を表示します。

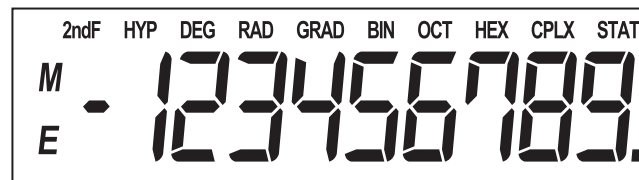
繰り返し押しすと、直前の四則演算を繰り返します。

$\boxed{2ndF}$  →  $\boxed{\%}$

百分率や割増/割引の計算に使用します。

## 3 ディスプレイの表示

### ■ アイコン



M: メモリーに数値が記憶されているときに点灯します。

E: 演算エラー(桁はずれなど)が発生したときに点灯します。

2ndF: 第2機能選択モード中に点灯します。

HYP: 双曲線関数モード中に点灯します。

DEG: 角度の単位にディグリーを選択しているときに点灯します。

RAD: 角度の単位にラジアンを選択しているときに点灯します。

GRAD: 角度の単位にグラジアンを選択しているときに点灯します。

BIN: 2進数モード中に点灯します。

OCT: 8進数モード中に点灯します。

HEX: 16進数モード中に点灯します。

CPLX: 複素数計算モード中に点灯します。

STAT: 統計モード中に点灯します。

### ■ 指数表示

表示モードキーを押して、浮動小数点表示と指数表示を切り替えます。

指数表示のときは、以下のように表示されます。

